

# 野村世界高格付債券投信 (年2回決算型)

## 運用報告書(全体版)

第22期 (決算日2019年11月18日)

作成対象期間 (2019年5月21日～2019年11月18日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2008年12月19日以降、無期限とします。	
運用方針	野村世界高格付債券投信マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界各国の信用力の高い債券に投資し、安定した利子収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村世界高格付債券投信(年2回決算型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、債券に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国の信用力の高い債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村世界高格付債券投信(年2回決算型)	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク FTSE世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期(2017年11月20日)	14,298	10	2.6	143.43	3.5	92.6	△25.1	167
19期(2018年5月18日)	14,130	10	△1.1	141.09	△1.6	87.2	△29.0	164
20期(2018年11月19日)	14,052	10	△0.5	140.92	△0.1	87.8	△34.0	153
21期(2019年5月20日)	14,257	10	1.5	143.39	1.8	82.3	△2.9	156
22期(2019年11月18日)	14,673	10	3.0	146.92	2.5	92.8	△56.8	160

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている世界主要国の国債の総投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックス（為替ヘッジを行わない円ベースの指数）です。円換算には、原則として国内投資信託の基準価額算出に使用する為替レートを\_using\_しています。なお、設定時を100として指数化しています。

\*FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(出所) FTSE Fixed Income LLC

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		ベンチマーク FTSE世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率				
(期首) 2019年5月20日	円	%		%	%	%
	14,257	—	143.39	—	82.3	△2.9
5月末	14,225	△0.2	143.39	0.0	81.1	△0.7
6月末	14,325	0.5	145.11	1.2	92.4	△36.9
7月末	14,504	1.7	145.50	1.5	91.3	△51.7
8月末	14,549	2.0	146.79	2.4	91.3	△78.9
9月末	14,717	3.2	146.94	2.5	88.1	△62.8
10月末	14,788	3.7	147.98	3.2	90.2	△63.1
(期末) 2019年11月18日	14,683	3.0	146.92	2.5	92.8	△56.8

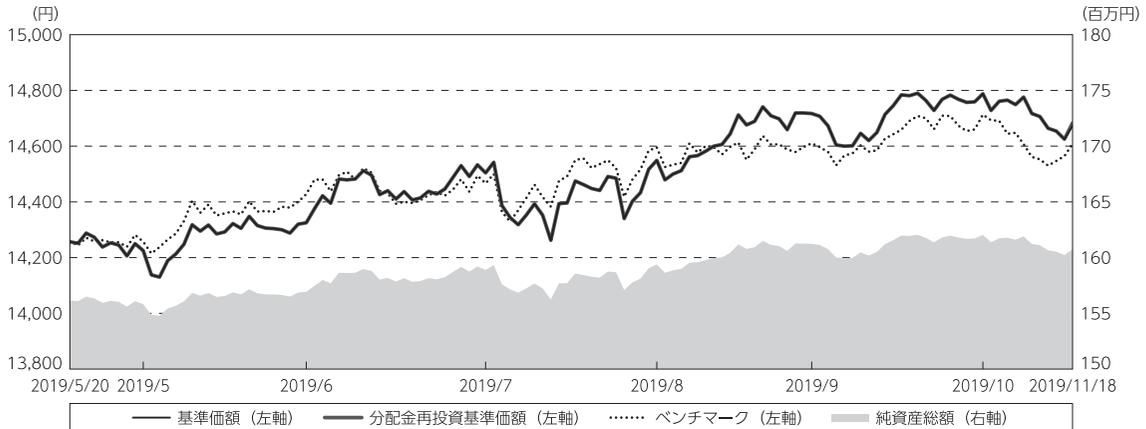
\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期首：14,257円

期末：14,673円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率： 3.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年5月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。ベンチマークは、作成期首（2019年5月20日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,257円から期末には14,673円となりました。当期は、10円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は426円となりました。

- (上昇) 期を通じて、安定的に債券の利息収入を得られたこと。
- (上昇) 債券利回りが低下（価格は上昇）したこと。
- (下落) 為替市場における米ドルやユーロの円に対する下落（円高）。

## ○投資環境

### 債券市場＜債券利回りは米国・ドイツ・日本で低下＞

米国市場では、好調な労働市場を背景に個人消費は堅調に推移したものの、製造業を中心とした景気悪化の兆しやインフレ見通しの懸念などを理由にFRB（米連邦準備制度理事会）が連続利下げに踏み切ったことや、米中貿易摩擦を背景とした景気先行き不透明感などから、債券利回りは低下しました。

欧州では、ユーロ圏の景気減速の継続やECB（欧州中央銀行）による包括的な金融緩和策の発表などを受けて、ドイツ国債の利回りは低下しました。

日本では、日銀の緩和的な金融政策が債券市場を下支えたことや、海外金利の低下などを背景に、日本国債利回りは低下しました。

### 為替市場＜米ドル、ユーロは円に対して下落＞

世界景気の減速懸念などを背景としたグローバルな債券利回り低下が進行する中で、米ドルやユーロは円に対して下落しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村世界高格付債券投信（年2回決算型）]

期を通じて、野村世界高格付債券投信マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に維持しました。

### [野村世界高格付債券投信マザーファンド]

#### ＜ファンド・デュレーション<sup>(※1)</sup>＞

ファンド全体のデュレーションは期首から期末にかけ、短期化しました。期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短期化としました。

(※1) デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

#### ＜為替のエクスポージャー<sup>(※2)</sup>＞

期末において、外貨エクスポージャーの内訳は、ベンチマークに比べ欧州通貨の比率を少なめ、米ドルと日本円の比率を多めとしました。

(※2) 為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨建資産に、為替予約等を含めた実質的な通貨配分の純資産額に対する比率のことです。比率が高い通貨が上昇した際には為替差益が、下落した際には為替差損が発生しやすくなります。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額の騰落率※は+3.0%となり、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）の+2.5%を0.5ポイント上回りました。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）込みで算出しております。

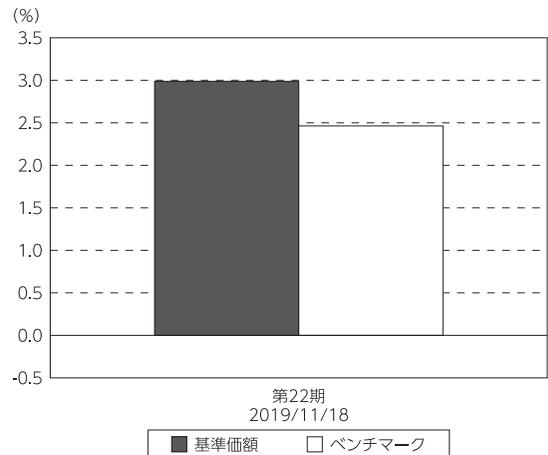
### （主なプラス要因）

欧州周縁国の対ドイツ国債スプレッド（利回り格差）が縮小する局面で、欧州周縁国のデュレーションをベンチマークに対して長期化していたこと。

### （主なマイナス要因）

グローバルに債券利回りが低下する局面で、ファンド全体のデュレーションをベンチマークに対して短期化していたこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。

## ◎分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から1万口当たり10円とさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第22期
	2019年5月21日～ 2019年11月18日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.068%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,447

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [野村世界高格付債券投信（年2回決算型）]

主要投資対象である野村世界高格付債券投信マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

### [野村世界高格付債券投信マザーファンド]

引き続き信託財産の成長を目標として積極的な運用を行ないます。債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行ないます。国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。

米国について、景気先行きに対する懸念から債券利回りは低下してきたものの、今後景気回復が持続することで、債券利回りは上昇（価格は下落）圧力がかかりやすいと予想します。欧州では、債券利回り低下が一定程度進んできたものの景気減速が継続する中で、債券利回りは横ばい圏で推移すると予想します。日本では、今後も金融緩和的な日銀の金融政策が債券相場を下支えすると見込んでおり、債券利回りは低水準で推移すると予想します。

ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比で、全体は短期化とし、地域別では米国を短めとします。為替エクスポージャーは、欧州通貨の比率を引き下げ、米ドルや日本円の比率を引き上げる方針です。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年5月21日～2019年11月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	83	0.574	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(40)	(0.274)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(40)	(0.273)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 4 )	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	( 1 )	(0.009)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.030	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 4 )	(0.025)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.004)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	88	0.613	
期中の平均基準価額は、14,518円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

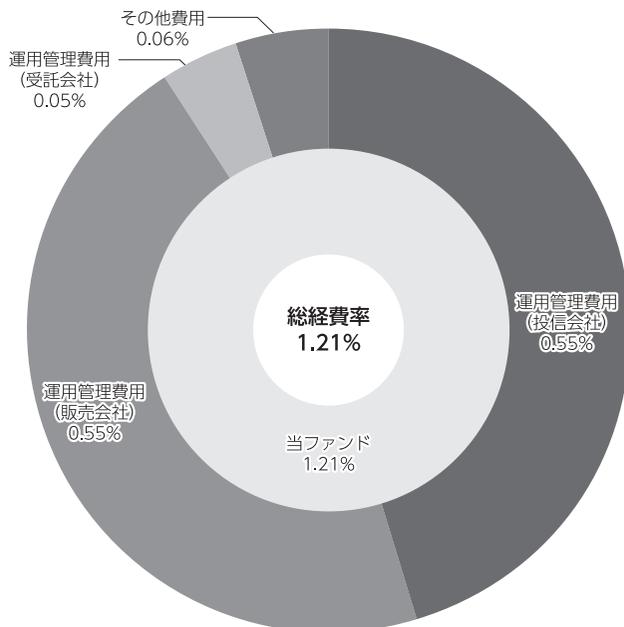
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報）****○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.21%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年5月21日～2019年11月18日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村世界高格付債券投信マザーファンド	千口 59	千円 100	千口 600	千円 1,000

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年5月21日～2019年11月18日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;野村世界高格付債券投信（年2回決算型）&gt;

該当事項はございません。

&lt;野村世界高格付債券投信マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 189	百万円 26	% 13.8	百万円 159	百万円 -	% -

平均保有割合 25.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2019年5月21日～2019年11月18日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 100	百万円 -	百万円 -	百万円 100	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2019年11月18日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
野村世界高格付債券投信マザーファンド		95,820	95,279	160,431

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村世界高格付債券投信マザーファンド	千円 160,431	% 99.2
コール・ローン等、その他	1,333	0.8
投資信託財産総額	161,764	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村世界高格付債券投信マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（515,032千円）の投資信託財産総額（666,921千円）に対する比率は77.2%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.82円、1カナダドル=82.31円、1英ポンド=140.60円、1スウェーデンクローナ=11.30円、1ユーロ=120.31円、1シンガポールドル=79.99円、1リンギ=26.21円、1豪ドル=74.20円、1メキシコペソ=5.67円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年11月18日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	161,764,498
コール・ローン等	1,332,834
野村世界高格付債券投信マザーファンド(評価額)	160,431,664
(B) 負債	1,011,967
未払収益分配金	109,553
未払信託報酬	900,749
未払利息	1
その他未払費用	1,664
(C) 純資産総額(A-B)	160,752,531
元本	109,553,411
次期繰越損益金	51,199,120
(D) 受益権総口数	109,553,411口
1万円当たり基準価額(C/D)	14,673円

(注) 期首元本額は109,528,302円、期中追加設定元本額は45,109円、期中一部解約元本額は20,000円、1口当たり純資産額は1,4673円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額157,106円。(野村世界高格付債券投信マザーファンド)

## ○損益の状況（2019年5月21日～2019年11月18日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 122
支払利息	△ 122
(B) 有価証券売買損益	5,574,577
売買益	5,575,611
売買損	△ 1,034
(C) 信託報酬等	△ 902,413
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,672,042
(E) 前期繰越損益金	40,554,735
(F) 追加信託差損益金	6,081,896
(配当等相当額)	( 7,152,991)
(売買損益相当額)	(△ 1,071,095)
(G) 計(D+E+F)	51,308,673
(H) 収益分配金	△ 109,553
次期繰越損益金(G+H)	51,199,120
追加信託差損益金	6,081,896
(配当等相当額)	( 7,153,093)
(売買損益相当額)	(△ 1,071,197)
分配準備積立金	52,523,059
繰越損益金	△ 7,405,835

\* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2019年5月21日～2019年11月18日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年5月21日～ 2019年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,543,058円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,153,093円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	51,089,554円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	59,785,705円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	5,457円
g. 分配金	109,553円
h. 分配金(1万円当たり)	10円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 野村世界高格付債券投信 マザーファンド

## 運用報告書

第11期（決算日2019年11月18日）

作成対象期間（2018年11月20日～2019年11月18日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した利子収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。 ①債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行います。なお、主要国以外の国債等に投資する場合があります。 ②国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。 ③通貨配分については、原則として為替予約取引等を用いて債券の国別配分とは独立した通貨配分を行います。 ④ポートフォリオのデュレーションのコントロール等のために、債券先物取引等のデリバティブを活用する場合があります。
主な投資対象	世界各国の信用力の高い債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。 外国為替予約取引はヘッジ目的に限定しません。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク FTSE世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債組入比率	債先物比率	純資産額
	騰落	中率	騰落	中率			
7期(2015年11月18日)	円	%		%	%	%	百万円
	16,048	3.6	144.20	0.8	93.9	△23.0	650
8期(2016年11月18日)	15,094	△5.9	134.14	△7.0	85.5	△24.5	606
9期(2017年11月20日)	15,992	5.9	143.43	6.9	92.8	△25.2	627
10期(2018年11月19日)	15,919	△0.5	140.92	△1.7	88.0	△34.1	608
11期(2019年11月18日)	16,838	5.8	146.92	4.3	93.0	△56.9	637

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*FTSE世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックス(為替ヘッジを行わない円ベースの指数)です。円換算には、原則として国内投資信託の基準価額算出に使用する為替レートを使用しています。なお、設定時を100として指数化しています。

\*FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(出所) FTSE Fixed Income LLC

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

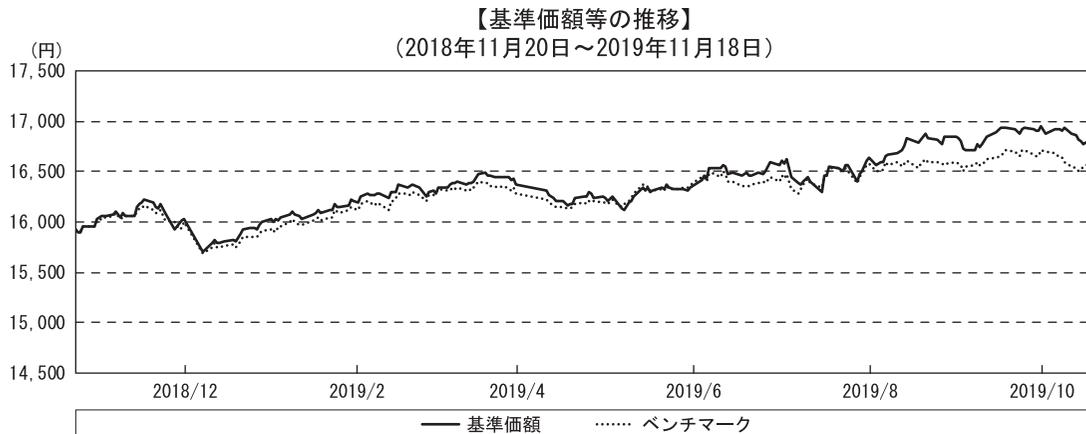
年月日	基準価額		ベンチマーク FTSE世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債組入比率	債先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2018年11月19日	円	%		%	%	%
	15,919	—	140.92	—	88.0	△34.1
11月末	16,065	0.9	142.07	0.8	85.7	△32.2
12月末	16,035	0.7	141.58	0.5	95.0	△43.9
2019年1月末	16,021	0.6	141.03	0.1	90.7	△24.9
2月末	16,197	1.7	142.71	1.3	94.0	△24.9
3月末	16,349	2.7	144.52	2.6	94.8	△33.2
4月末	16,375	2.9	144.07	2.2	89.3	1.0
5月末	16,224	1.9	143.39	1.8	81.3	△0.7
6月末	16,353	2.7	145.11	3.0	92.6	△36.9
7月末	16,575	4.1	145.50	3.2	91.5	△51.8
8月末	16,641	4.5	146.79	4.2	91.5	△79.1
9月末	16,850	5.8	146.94	4.3	88.4	△63.0
10月末	16,949	6.5	147.98	5.0	90.4	△63.3
(期末) 2019年11月18日	16,838	5.8	146.92	4.3	93.0	△56.9

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。作成期首の値が基準価額と同一になるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首15,919円から期末には16,838円となり、919円の値上がりとなりました。

(上昇) 期を通じて、安定的に債券の利息収入を得られたこと。

(上昇) 米欧の債券利回りが低下（価格は上昇）したこと。

(下落) 為替市場における米ドル・ユーロの円に対する下落（円高）。

### ○当ファンドのポートフォリオ

#### <ファンド・デュレーション<sup>(※1)</sup>>

ファンド全体のデュレーションは期首から期末にかけ、短期化しました。期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短期化としました。

(※1) デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

#### <為替のエクスポージャー<sup>(※2)</sup>>

期末において、外貨エクスポージャーの内訳は、ベンチマークに比べ欧州通貨の比率を少なめ、米ドルと日本円の比率を多めとしました。

(※2) 為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨資産に、為替予約等を含めた実質的な通貨配分の純資産額に対する比率のことです。比率が高い通貨が上昇した際には為替差益が、下落した際には為替差損が発生しやすくなります。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額の騰落率は+5.8%となり、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）の+4.3%を1.5ポイント上回りました。

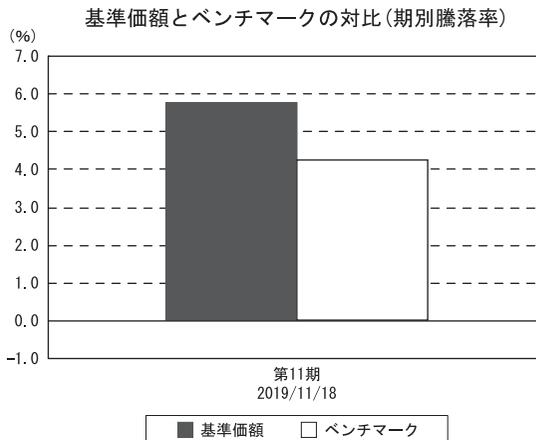
### （主なプラス要因）

欧州周縁国の対ドイツ国債スプレッド（利回り格差）が縮小する局面で、欧州周縁国のデュレーションをベンチマークに対して長期化していたこと。

欧州通貨が米ドルや円に対して下落する局面で、米ドルや円の比率を多め、欧州通貨を少なめとしていたこと。

### （主なマイナス要因）

グローバルに債券利回りが低下する局面で、ファンド全体のデュレーションをベンチマークに対して短期化していたこと。



（注）ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。

## ◎今後の運用方針

引き続き信託財産の成長を目標として積極的な運用を行ないます。債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行ないます。国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。

米国について、景気先行きに対する懸念から債券利回りは低下してきたものの、今後景気回復が持続することで、債券利回りは上昇（価格は下落）圧力がかかりやすいと予想します。欧州では、債券利回り低下が一定程度進んできたものの景気減速が継続する中で、債券利回りは横ばい圏で推移すると予想します。日本では、今後も金融緩和的な日銀の金融政策が債券相場を下支えすると見込んでおり、債券利回りは低水準で推移すると予想します。

ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比で、全体は短期化とし、地域別では米国を短めとします。為替エクスポージャーは、欧州通貨の比率を引き下げ、米ドルや日本円の比率を引き上げる方針です。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月20日～2019年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 2 ( 2 )	% 0.014 (0.014)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	8 ( 7 ) ( 0 )	0.048 (0.044) (0.004)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	10	0.062	
期中の平均基準価額は、16,386円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月20日～2019年11月18日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 449,779	千円 446,235 ( 42,000)
	アメリカ	国債証券 千米ドル 179	千米ドル 294
外国	カナダ	国債証券 千カナダドル -	千カナダドル 415
	イギリス	国債証券 千英ポンド 161	千英ポンド 338
	スウェーデン	国債証券 千スウェーデンクローナ 2,433	千スウェーデンクローナ -
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券 218	554
	イタリア	国債証券 3,450	2,823
	フランス	国債証券 152	270
	スペイン	国債証券 601	189
	ポーランド	国債証券 千ズロチ -	千ズロチ 732
	シンガポール	国債証券 千シンガポールドル -	千シンガポールドル 101
マレーシア	国債証券 千リンギ 1,419	千リンギ 729	
オーストラリア	国債証券 千豪ドル -	千豪ドル 111	
メキシコ	国債証券 千メキシコペソ 17,268	千メキシコペソ 4,857	

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種類別	買建		売建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国 債券先物取引	百万円 682	百万円 624	百万円 2,149	百万円 1,932

\*単位未満は切り捨て。

\*外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月20日～2019年11月18日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	1,198	10	0.8	1,112	2	0.2
為替先物取引	8,413	21	0.2	8,482	—	—
為替直物取引	390	38	9.7	298	20	6.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2019年11月18日現在)

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	85,000	101,682	15.9	—	15.9	—	—
合 計	85,000	101,682	15.9	—	15.9	—	—

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期			償 還 年 月 日
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	
国債証券		%	千円	千円	
国庫債券	利付(30年)第49回	1.4	9,000	11,285	2045/12/20
国庫債券	利付(30年)第56回	0.8	3,000	3,308	2047/9/20
国庫債券	利付(30年)第64回	0.4	4,000	3,957	2049/9/20
国庫債券	利付(20年)第121回	1.9	7,000	8,482	2030/9/20
国庫債券	利付(20年)第125回	2.2	26,000	32,573	2031/3/20
国庫債券	利付(20年)第137回	1.7	9,000	10,890	2032/6/20
国庫債券	利付(20年)第147回	1.6	7,000	8,481	2033/12/20
国庫債券	利付(20年)第150回	1.4	10,000	11,891	2034/9/20
国庫債券	利付(20年)第166回	0.7	10,000	10,809	2038/9/20
合 計			85,000	101,682	

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
イギリス	千英ポンド 80	千英ポンド 118	千円 16,722	% 2.6	% —	% 2.6	% —	% —
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 2,200	千スウェーデンクローナ 2,365	26,732	4.2	—	4.2	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	300	469	56,480	8.9	—	8.9	—	—
イタリア	1,330	1,441	173,387	27.2	—	11.8	8.8	6.6
フランス	130	153	18,518	2.9	—	2.9	—	—
スペイン	630	801	96,388	15.1	—	13.2	1.9	—
マレーシア	千リンギ 1,040	千リンギ 1,093	28,656	4.5	—	2.0	0.4	2.1
メキシコ	千メキシコペソ 12,500	千メキシコペソ 13,172	74,688	11.7	—	7.0	4.7	—
合 計	—	—	491,575	77.1	—	52.6	15.8	8.7

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期期末					
		利率	額面金額	評価額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
イギリス	国債証券	UK TREASURY	%	千英ポンド	千英ポンド	千円	
			3.5	80	118	16,722	2045/1/22
小		計				16,722	
スウェーデン	国債証券	SWEDISH GOVERNMENT		千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
			0.75	2,200	2,365	26,732	2029/11/12
小		計				26,732	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.5	240	390	47,023	2046/8/15
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1.25	60	78	9,457	2048/8/15
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	3.75	330	348	41,897	2021/5/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	0.95	100	102	12,275	2023/3/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	1.75	150	157	18,994	2024/7/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	1.45	200	208	25,034	2024/11/15
		BUONI POLIENNALI DEL TES	2.5	150	163	19,701	2024/12/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	1.6	150	157	18,910	2026/6/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	7.25	100	142	17,144	2026/11/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	2.05	150	161	19,428	2027/8/1
フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF)	0.5	100	105	12,683	2029/5/25
		FRANCE GOVERNMENT O. A. T	3.25	30	48	5,835	2045/5/25
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	0.35	100	101	12,267	2023/7/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.15	180	202	24,352	2025/10/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.15	350	496	59,768	2028/10/31
小		計				344,775	
マレーシア	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT	4.642	440	483	12,674	2033/11/7
		MALAYSIAN GOVERNMENT	4.16	500	508	13,339	2021/7/15
		MALAYSIAN GOVERNMENT	3.418	100	100	2,642	2022/8/15
小		計				28,656	
メキシコ	国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	8.0	5,000	5,259	29,818	2024/9/5
		MEX BONOS DESARR FIX RT	7.5	1,000	1,036	5,879	2027/6/3
		MEX BONOS DESARR FIX RT	7.75	6,500	6,876	38,990	2031/5/29
小		計				74,688	
合		計				491,575	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当期	
			買建額	売建額
			百万円	百万円
外国	債券先物取引	TNOTE (2YEAR)	46	—
		AU10YR	10	—
		BOBL	—	161
		BUNDS	—	61
		CANADA	—	46
		GILTS	18	—
		SCHATZ	—	121
		TNOTE (10YEAR)	—	28
		T-ULTRA	—	20

\*単位未満は切り捨て。

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月18日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	593,257	89.0
コール・ローン等、その他	73,664	11.0
投資信託財産総額	666,921	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産（515,032千円）の投資信託財産総額（666,921千円）に対する比率は77.2%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.82円、1カナダドル=82.31円、1英ポンド=140.60円、1スウェーデンクローナ=11.30円、1ユーロ=120.31円、1シンガポールドル=79.99円、1リンギ=26.21円、1豪ドル=74.20円、1メキシコペソ=5.67円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,773,145,703
コール・ローン等	46,669,908
公社債(評価額)	593,257,878
未収入金	1,115,564,749
未收利息	3,004,149
前払費用	411,589
差入委託証拠金	14,237,430
(B) 負債	1,135,270,704
未払金	1,135,270,656
未払利息	48
(C) 純資産総額(A-B)	637,874,999
元本	378,828,785
次期繰越損益金	259,046,214
(D) 受益権総口数	378,828,785口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,838円

(注) 期首元本額は382,001,018円、期中追加設定元本額は121,963円、期中一部解約元本額は3,294,196円、1口当たり純資産額は1,6838円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・世界高格付債券投信S(適格機関投資家専用) 283,549,260円  
 ・野村世界高格付債券投信(年2回決算型) 95,279,525円

## ○損益の状況 (2018年11月20日～2019年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	13,840,535
受取利息	13,869,748
その他収益金	19,912
支払利息	△ 49,125
(B) 有価証券売買損益	26,580,853
売買益	114,119,746
売買損	△ 87,538,893
(C) 先物取引等取引損益	△ 5,155,505
取引益	13,603,591
取引損	△ 18,759,096
(D) 保管費用等	△ 298,298
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	34,967,585
(F) 前期繰越損益金	226,106,396
(G) 追加信託差損益金	78,037
(H) 解約差損益金	△ 2,105,804
(I) 計(E+F+G+H)	259,046,214
次期繰越損益金(I)	259,046,214

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。